

## 令和2年第2回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 令和2年2月14日（金）午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 応接室
- 3 出席者 長谷川教育長、長沼委員、小林委員、松井委員
- 4 欠席者 佐藤委員
- 5 説明のための出席者  
遠藤教育部長、村上教育総務課長、栗林子育て支援課長、  
高橋小中一貫教育推進課長、捧教育センター長、大谷教育総務課課長補佐、  
笹倉生涯学習課課長補佐、西澤教育総務課庶務係長
- 6 傍聴人 1人
- 7 議 題
  - (1) 会議録の承認  
令和2年第1回教育委員会定例会会議録
  - (2) 報告  
報第1号 小中一貫教育実施状況について  
報第2号 令和元年度三条市立学校卒業式参列者について
  - (3) 議事  
議第1号 市長からの意見聴取について（三条市児童クラブ条例の一部改正）  
議第2号 市長からの意見聴取について（令和元年度三条市一般会計補正予算（教育委員会所管分））  
議第3号 市長からの意見聴取について（令和2年度三条市一般会計予算（教育委員会所管分））  
議第4号 第2期すまいる子ども・若者プラン（三条市子ども・子育て支援事業計画）の策定について
  - (4) 次回教育委員会定例会の日程について
- 8 審議の経過及び結果
  - (1) 会議録の承認について  
長谷川教育長から令和2年第1回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定

- 
- (2) 報告  
報第1号 小中一貫教育実施状況について

捧教育センター長が説明

(松井委員)

下田中学校の学校運営協議会は、ただの郷学園小中一貫教育推進協議会と同一という認識でよろしいでしょうか。ほかの中学校は時間をずらしてそれぞれ開催しているようですが。

(捧教育センター長)

今年度につきましては、小中一貫教育推進協議会と学校運営協議会を兼ねる形で行っております。ほかの中学校ではそれぞれ別に開催しております。

報第2号 令和元年度三条市立学校卒業式参列者について

村上教育総務課長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

(長谷川教育長)

この場でしばらく休憩をさせていただきたいと思います。

—休憩—

—再開—

「議第1号 市長からの意見聴取について（三条市児童クラブ条例の一部改正）」から「議第3号 市長からの意見聴取について（令和2年度三条市一般会計予算（教育委員会所管分）」は三条市教育委員会会議規則第33条の規定により非公開とする提案が長谷川教育長からあり、全員異議なく非公開と決定

---

### (3) 議事

議第4号 第2期すまいる子ども・若者プラン（三条市子ども・子育て支援事業計画）の策定について

栗林子育て支援課長が説明

(長沼委員)

合計特殊出生率とはどのような数値でしょうか。

(栗林子育て支援課長)

合計特殊出生率につきましては、15歳から49歳という女性が出産をされると考えられる年代の出生率を合計した数値です。

出生率が単に人口に対して何人生まれたかという数値なのに対し、合計特殊出生率は

特定の年代の出生率であることから、このような名称となっております。

(松井委員)

19 ページの児童発達支援の利用状況の表で、平成 30 年度に急激に数値が伸びていますが、どのような理由なのでしょうか。

(栗林子育て支援課長)

この事業につきましては、児童福祉法に基づいて平成 24 年度から実施しているもので、子育て支援課の中にも子ども発達ルームを設置しております。当初この事業を三条市内で行っていたのは子ども発達ルームのみでありましたが、最近事業所が増えてきておりその利用が増えていること、また、年中児発達参観を平成 26 年度から始めたことなどで、障がいに対する保護者の理解が進み、このようなサービスを利用することに抵抗がなくなってきたことが理由として挙げられると考えております。

(松井委員)

利用人数が増えたということは、発達障がいの子どもの数が増えたということでしょうか。

(栗林子育て支援課長)

年中児発達参観の実施により、早期に障がいのある子どもたちを把握し支援につなげていることから、幼児期の人数は増えている状況でございます。

(小林委員)

67 ページの成果指標ですが、どのようにアンケートを取られているのでしょうか。

(栗林子育て支援課長)

アンケートにつきましては、平成 30 年度は就学前の幼児期、小学生、中学生から 1 学年 200 名を抽出し実施いたしました。また、今年度は高校生と大学生相当の年代にも抽出により実施しております。

(小林委員)

学校を通じて配布しているのですか。それとも各家庭へランダムに郵送しているのでしょうか。

また、何件にアンケートを依頼し回収率が何パーセントで結果こうなったという数字もあるのでしょうか。

(栗林子育て支援課長)

アンケートは各家庭に郵送し依頼しております。

また、アンケートの人数、回収率については、73 ページに記載のとおりでございます。

(松井委員)

保育所、幼稚園、認定こども園などのほかに事業所が運営する施設もありますが、施設の内訳をお聞かせください。

(栗林子育て支援課長)

保育を行う公立保育所、私立保育園のほか、教育を行う幼稚園が3園ございます。また、これまで幼稚園でありました、松葉幼稚園と聖母幼稚園が保育と教育の両方を行う認定こども園となったものでございます。そのほか、地域型保育事業ということで、済生会のたんぽぽやルーテル幼稚園内のどんぐりルームという施設があり、これらの施設につきましては、公費を給付しているものでございます。また、事業所が事業所内で保育を実施しているものもございますが、これらの施設は、適正な運営がなされているかという監査は行いますが、公費は給付されないものでございます。

さらに、新しい形態として企業主導型という保育施設がございます。これらについても、行政をとおして設置するものではなく、企業主導で設置するものでありますが、通常企業が設置した施設は、そこに勤める人だけを対象としますが、この企業主導型は例えば地域の子どもなども対象とするものでございます。これらに対しては、保育園等に対する給付とは別に、公的な給付がなされております。

(松井委員)

三条市内にも企業主導型保育を実施している企業はあるのでしょうか。

(栗林子育て支援課長)

市内ではマルソー(株)が月岡地内で最初に開設をしました。また、石上どれみ保育園が近くの民家を借り、自園の職員の子どものほか、地域の子どもも預かるということで実施しているほか、昨年、マルソー(株)が新たに本町において開設をしております。

---

#### (4) 次回教育委員会定例会の日程について

村上教育総務課長から提案があり、教育長が諮り次のとおり決定

〔日時〕 令和2年3月25日(水) 午後1時30分

〔会場〕 三条市役所栄庁舎 応接室

---

#### 9 閉会宣言 午後3時02分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

教育長 長谷川 正 二